

2026年4月14日



インドネシアで炭鉱跡地を活用したバイオ燃料原料植物ポンガミア試験栽培
プロジェクトを開始
～バイオ燃料原料の供給可能性とカーボンクレジット創出を検証～

株式会社商船三井（本社：東京都港区、社長：田村 城太郎）、PT Hasnur Group Indonesia（本社：インドネシア 南ジャカルタ、President Director：Jayanti Sari）、阪和興業株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：中川 洋一）、日本ハム株式会社（本社：大阪府北区、代表取締役社長：前田 文男）、Four Pride Management Pte. Ltd.（本社：シンガポール、CEO：十河 伸介）および、SPIL Ventures（本社：インドネシア 中央ジャカルタ、Director：Sumarny Manurung）の6社はコンソーシアムを組成し、インドネシア・南カリマンタン州タピン県において、油糧植物として知られるポンガミアの試験栽培プロジェクト（以下「本プロジェクト」）を開始します。約10ヘクタールの炭鉱跡地を活用し、2026年から2031年までの5年間にわたり、ポンガミアの栽培、生育データの取得、バイオ燃料原料としての活用可能性、およびカーボンクレジット創出可能性を含む技術検証を行います。



(ポンガミア)



(検証実施場所のインドネシア 南カリマンタン州炭鉱跡地)

ポンガミアはインド原産のマメ科植物で、アジア(中国南部、沖縄、台湾)から熱帯・亜熱帯(インド、東南アジア、オーストラリア、西太平洋諸島等)の温暖で湿潤な気候帯に自生し、沖縄県が分布北限です。種子に30～45%程度の油が含まれており、非可食油であることから、食料生産に影響なくバイオ燃料油の製造が可能となるメリットがあります。栽培にあたっては、インドネシア国家研究イノベーション庁（BRIN: Badan Riset dan Inovasi Nasional）および、日本国内の大学から植物栽培・種子増産の専門知識と技術指導を受ける予定です。

本プロジェクトにおける主な検証項目は、以下の通りです。検証を通じ取得した知見を踏まえ、将来的な事業化の可能性をコンソーシアム一体となり検討していきます。

- ポンガミアの栽培適性および生育データの取得
- バイオ燃料原料としての活用可能性の検証
- バイオ燃料原料としてのサプライチェーンの検証
- 炭鉱跡地の再生利用に関する検証
- カーボンクレジット創出可能性の検証
- 将来的な商業化に向けた課題整理

各社紹介

株式会社商船三井

商船三井は、LNG 船、自動車船、油送船、ばら積み船など 900 隻超の様々な船種を運航しています。海運業を中心に、海洋事業、洋上風力発電関連事業、ロジスティクス事業、不動産事業等の社会インフラ事業に加え、クルーズやフェリーといった BtoC 事業も行っています。2050 年までのネットゼロ・エミッション達成を掲げ、GHG 排出削減に向けた取り組みを進めています。詳細は[商船三井グループ環境ビジョン](#)をご覧ください。

PT Hasnur Group Indonesia

Hasnur Group は、1966 年に南カリマンタンの実業家、H. Abdussamad Sulaiman HB と Hj. Nurhayati によって設立された多角経営企業グループです。「Hasnur」という名称は、創業者 2 人の名前を組み合わせたものです。当初は河川輸送と林業を営んでいたが、その後、物流、農業・林業、エネルギー、テクノロジー・サービス、教育、消費者サービス、投資の 7 つの戦略的事業単位 (SBU) を持つ総合企業へと成長しました。「共に成長し、未来を創造する」をモットーとする Hasnur Group は、南カリマンタンにおける様々な社会・教育活動を支援する Hasnur 財団を通じて、社会開発に尽力しています。創業から約 60 年の歴史を持つ同グループは、プロサッカークラブ PS Barito Putera のオーナーでもあります。

阪和興業株式会社

阪和興業は、1947 年の設立以来、鉄鋼を中心に非鉄金属、食品、エネルギー、生活資材、木材など多岐にわたる分野で事業を展開しています。エネルギー部門では、今後世界的な脱炭素社会に貢献するバイオ燃料に注力し、原料が豊富な東南アジアにおいて多様なバイオ燃料確保に取り組み、長期的かつ安定的な供給体制の構築を目指したプロジェクトを推進しています。

日本ハム株式会社

ニッポンハムグループは、食肉・加工食品を中心に、乳製品や水産品、健康価値領域など幅広い食の事業を展開し、「食べる喜び」を通じて人々の豊かな暮らしに貢献しています。

私たちはサステナビリティを経営の重要テーマに位置づけ、気候変動への対応（GHG 排出削減）、資源循環や食品ロス削減など、事業と一体となった取り組みを推進しています。

<https://www.nipponham.co.jp/corporate/sustainability/>

Four Pride Group

Four Pride Group は、ポンガミアを原料とした次世代バイオ燃料の開発を行っています。東南アジアにおいてプランテーション開発を推進するとともに、インドネシアにおいて現地パートナーと連携し育苗拠点「PoMa Hub (Pongamia-Malapari Development Hub)」を展開し、優良種苗の供給および栽培技術の開発を推進しています。

<https://www.fourpride.com>

SPIL Ventures

SPIL Ventures は、海運・物流会社である PT Salam Pacific Indonesia Lines (PT SPIL) のコーポレートベンチャーキャピタル会社です。SPIL Ventures では、さまざまな業界におけるデジタル主導のイノベーションの促進に注力しています。スタートアップ企業、先見の明のある企業、イノベーターへの投資やパートナーシップを通じて、アイデアをインパクトのある事業へと変革するお手伝いをしています。豊富な経験を活かし、有望なプロジェクトに価値をもたらし、共通のビジョンを現実のものへと変えていきます。私たちの目標は、全国規模での成長を加速させ、スマートで効率的な発展を推進することです。詳細については、当社のウェブサイトをご覧ください。

<https://spilventures.com/>